

平成16年 3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年 2月25日

上場会社名 横浜ゴム株式会社

コード番号 5101

(URL <http://www.yrc.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 富永 靖雄

問合せ先責任者 取締役経理部長 小島 達成 TEL (03) 5400 - 4520

上場取引所 東・大・名

本社所在都道府県 東京都

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 有 税金費用の計算等については、一部簡便的な方法を
方法との相違の有無 採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 平成15年3月期比 連結（新規）9社 （除外）15社

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年 4月 1日 ~ 平成15年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	297,009	0.2	17,936	-	15,315	-	8,684	-
15年3月期第3四半期	297,516	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	400,448		23,184		18,795		10,144	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	25.36	-
15年3月期第3四半期	-	-
(参考) 15年3月期	29.38	-

(注) 売上高におけるパーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当第3四半期までの当社グループを取り巻く環境は、米国経済は回復基調を示し、アジア諸国においては景気拡大も見られました。一方、わが国の経済は、輸出と民間設備投資は堅調な傾向をたどり、株式市場も持ち直し、一部に明るい材料も見られましたが、個人消費は本格的な回復には至らず、公共事業の低迷、急速な円高の進行なども相まって、景気の先行きは依然、不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループの第3四半期は、主力のタイヤ事業を中心に海外市場向けは順調に推移しましたが、国内需要の低迷、天然ゴムを中心とした原料価格の高騰の影響を受けました。

その結果、売上高は2,970億9百万円、営業利益は179億36百万円、経常利益は153億15百万円、四半期純利益は86億84百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	400,000	18,000	10,000	29.21

業績は概ね当初予想通りに推移しており、現時点においては、業績予想の変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。